

2011年度

科目名	経済と社会B			
担当教員	村上 慎司			
配当	文 1・教育1・人間1			コード 25014
開期	後期	講時	火曜日5限	単位数 2
授業テーマ	経済学の観点を中心に我々が暮らす国際社会の諸問題を学習・思考する。			
目的と概要	本科目の目的は、前期の「経済と社会A」を踏まえた上で、経済学と隣接社会科学の観点から、我々が暮らす国際社会の諸問題の現状と背景を学び、その解決に向けて、考える。 世界規模で貿易を行い、金融資本や情報が流通し、人々が移動しているグローバルな社会は多くの人々に豊かさをもたらしている。だが、グローバリゼーションの負の側面、世界の貧困、国境を越えた環境問題は未解決のままである。これらの問題を考えるためには、人々がより良く生活できる福祉を考える必要がある。そこで、本科目は、(1)グローバリゼーション、(2)世界の貧困、(3)環境問題を学習し、それを踏まえて、(4)福祉の経済学についての講義を行う。			
成績評価法	期末試験(80%)と、講義時の平常点(20%)で、評価する。 詳細は初回のオリエンテーションで説明する			
テキスト				
参考書	世界一シンプルな経済入門 経済は損得で理解しろ！／飯田泰之／エンターブレイン これからの「正義」の話をしよう／マイケル・サンデル／早川書房 なぜ遠くの貧しい人への義務があるのか／トマス・ポグゲ／生活書房			
履修に当たっての注意・助言／準備学習	「経済と社会A」の履修を前提に講義を行う。オリエンテーションでは、講義の詳細について説明するので、必ず出席しなければならない。なお、本科目は座席制を導入し、私語・携帯電話の使用・遅刻等の真摯な学習態度ではない行為は厳格に処罰する。 準備学習として、前回までの配付資料を熟読することが必須である。また、経済と社会に関連する新聞や報道に関心を持つことが推奨される。			
講義計画				
1. オリエンテーション 2. グローバリゼーションについて(1) 3. グローバリゼーションについて(2) 4. グローバリゼーションについて(3) 5. 世界の貧困について(1) 6. 世界の貧困について(2) 7. 世界の貧困について(3) 8. 環境問題について(1) 9. 環境問題について(2) 10. 環境問題について(3) 11. 福祉の経済学について(1) 12. 福祉の経済学について(2) 13. 福祉の経済学について(3) 14. 福祉の経済学について(4) 15. まとめ				